

User-Agent 文字列とVersion Vector:
Windows® Internet Explorer® 8
Beta 1 for Developers



Web 作業の操作性を向上

2008 年 3 月

詳細の問い合わせ先 (報道関係者専用):
Rapid Response Team
Waggener Edstrom Worldwide
(503) 443-7070
rrt@waggeneredstrom.com

このドキュメントに記載されている情報は、このドキュメントの発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。マイクロソフトは市場の変化に対応する必要があるため、このドキュメントの内容に関する責任をマイクロソフトは問われないものとします。また、発行日以降に発表される情報の正確性を保証できません。

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。

お客様ご自身の責任において、適用されるすべての著作権関連法規に従ったご使用を願います。このドキュメントのいかなる部分も、米国 Microsoft Corporation の書面による許諾を受けることなく、その目的を問わず、どのような形態であっても、複製または譲渡することは禁じられています。ここでいう形態とは、複写や記録など、電子的な、または物理的なすべての手段を含みます。ただしこれは、著作権法上のお客様の権利を制限するものではありません。

マイクロソフトは、このドキュメントに記載されている内容に関し、特許、特許申請、商標、著作権、またはその他の無体財産権を有する場合があります。別途マイクロソフトのライセンス契約上に明示の規定のない限り、このドキュメントはこれらの特許、商標、著作権、またはその他の無体財産権に関する権利をお客様に許諾するものではありません。

別途記載されていない場合、このソフトウェアおよび関連するドキュメントで使用している会社、組織、製品、ドメイン名、電子メール アドレス、ロゴ、人物、場所、出来事などの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

© 2008 Microsoft Corp. All rights reserved.

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、ActiveX、Active Directory、Internet Explorer、Internet Explorer のロゴ、MSN のロゴは、米国 Microsoft Corp. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載されている会社名、製品名には、各社の商標のものもあります。

概要

User-Agent 文字列とは、ブラウザが自分自身の識別情報を、HTTP トラフィックを通して Web サイトに伝えるために使うものです。Version Vector とは、Internet Explorer のバージョン番号を取得するための機構で、条件付きコメントを評価する際に使います。いずれもサイトの互換性を高めるために利用可能です。ブラウザの識別方法を知っておけば、Windows Internet Explorer 8 クライアントで表示したとき、意図通りの動作になるようにすることができます。

機能の詳細

User-Agent 文字列

Web ページを表示しようとする時、ブラウザは当該ページを管理しているサーバーに、User-Agent 文字列を送信します。使っているブラウザの種類、バージョン番号、システムの詳細 (オペレーティング システムのバージョンなど) を表す文字列です。Web サーバーはこの情報を調べ、ブラウザに応じて内容を調整して返すことができます。さらに、Internet Explorer は User-Agent 文字列を DOM の一部としても公開しているので、クライアント上で動作するコード (スクリプトなど) がブラウザ バージョンの詳細を取得することも可能です。

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers では、User-Agent 文字列が更新されています (下線を引いた部分に変更箇所)。

例: Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 8.0; Windows NT 6.0)

これは 旧 Internet Explorer と区別できるようにするための変更です。その半面、文字列を等号で比較している場合は、Internet Explorer 8 に対応して、バージョンを調べる処理ロジックを変更しなければなりません。

ベスト プラクティス :

- User-Agent 文字列を調べるコード例が MSDN (<http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/ms537509.aspx>) に載っているので参考にしてください。
- Web サイト上で使っている、User-Agent 確認コードを見直してください。
 - Internet Explorer 7 用に開発、テストした処理がそのまま Internet Explorer 8 でも動作するようにしたい場合は、バージョン番号の比較に、等号ではなく「以上」を表す演算子 (\geq) を使います。さらに、ドキュメント モード (後方互換 (quirks)、標準 (strict) など) が Internet Explorer 8 に合っていることも確認してください。

例:

```
function getInternetExplorerVersion()  
// Returns the version of Internet Explorer or a -1  
// (indicating the use of another browser).  
{  
    var rv = -1; // Return value assumes failure.  
    if (navigator.appName == 'Microsoft Internet Explorer')  
    {  
        var ua = navigator.userAgent;  
        var re = new RegExp("MSIE ([0-9]{1,})[¥.0-9]{0,}");  
        if (re.exec(ua) != null)  
            rv = parseFloat( RegExp.$1 );  
    }  
    return rv;  
}  
function checkVersion()  
{  
    var msg = "You're not using Internet Explorer.";
```

```

var ver = getInternetExplorerVersion();

if ( ver > -1 )
{
    if ( ver >= 7.0 )
        msg = "You're using Internet Explorer 7 or Internet Explorer 8. I should send a
quirks or strict mode document."
    else
        msg = "You should upgrade your copy of Internet Explorer.";
}
alert( msg );
}

```

- Internet Explorer 8 専用の処理を行う場合 (CSS 2.1 ガイドラインに準拠した、最新の描画モードを使うドキュメントを送信するなど) は、「以上」を表す比較演算子 (\geq) でバージョン番号を比較します。将来のことを考えると、等号での比較はお勧めできません。Internet Explorer 9 が公開されれば、これを正しく扱えるよう、また修正しなければならなくなる可能性が高いからです。

例:

```

function getInternetExplorerVersion()
// Returns the version of Internet Explorer or a -1
// (indicating the use of another browser).
{
    var rv = -1; // Return value assumes failure.
    if (navigator.appName == 'Microsoft Internet Explorer')
    {
        var ua = navigator.userAgent;
        var re = new RegExp("MSIE ([0-9]{1,})[¥.0-9]{0,}");
        if (re.exec(ua) != null)
            rv = parseFloat( RegExp.$1 );
    }
    return rv;
}
function checkVersion()
{
    var msg = "You're not using Internet Explorer.";
    var ver = getInternetExplorerVersion();

    if ( ver > -1 )
    {
        if ( ver >= 8.0 )
            msg = "You're using Internet Explorer 8 or later. I should send you CSS 2.1
content."
        else
            msg = "You should upgrade your copy of Internet Explorer.";
    }
    alert( msg );
}

```

Version Vector

Version Vector とは Internet Explorer の内部バージョン番号で、レジストリ キーに格納されており、ブラウザの起動時に読み込まれます。Internet Explorer はこの値を、条件付きコメントを処理する際に使います。条件付きコメントとは、HTML ソース中に記述されたコメント ブロックの一種で、Internet Explorer のみが解釈するようになっています。コメント内には操作や機能、値を、いくつでも記述できます。一般的な用途としては、Internet Explorer のバージョンに応じて、適用する CSS (Cascading Style Sheets) の規則を切り替える、というものがあります。

Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers の Version Vector は「8.0」に更新されています。デフォルトでは、Internet Explorer 8 Beta 1 for Developers は、最も標準に準拠したモードでページを描画しようとします

(DOCTYPE を “Quirks” として宣言されている場合を除く)。したがって、既存の Web コンテンツとの互換性を維持するためには、条件付きコメントを適切に記述して、標準に準拠しない CSS の動作が Internet Explorer 8 クライアントに適用されないようにする必要があります。次の例を参照してください。

意図する結果	記述例
Internet Explorer 7 用の条件付きコメント ブロックを Internet Explorer 8 にも適用 (Quirks モードまたは IE7 標準モードのドキュメントでのみ使用可)。	<!--[if gte IE 7]>
Internet Explorer 8 のみが対象	<!--[if gte IE 8]>
Internet Explorer 7 のみが対象	<!--[if IE 7]>

ベスト プラクティス :

- 条件付きコメントの使用例が MSDN に載っているので参考にしてください (<http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/ms537509.aspx>)。
- Web サイトで使っている条件付きコメントを見直してください。
 - Internet Explorer 7 用に制作、テストしたコンテンツをそのまま Internet Explorer 8 にも適用したい場合は、Internet Explorer 8 クライアント側で評価してもコメント ブロックの値が TRUE になるようにする必要があります。

例:

```
<head>
<title>Test Page</title>
<!--[if gte IE 7]>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheets/ie.css" />
<p>Both Internet Explorer 8 and Internet Explorer 7 will receive this style sheet.
</p>
<![endif]-->
</style>
</head>
```

- Internet Explorer 8 用と Internet Explorer 7 用に異なる記述を適用したい場合は、条件付きコメント ブロックを 2 つ並べます。まず、Internet Explorer 8 用のコメント ブロックを指定するために、「以上」を表す比較演算子 (>=) を使います。注意: 将来のことを考えると、等号での比較はお勧めできません。Internet Explorer 9 が公開されれば、これを正しく扱えるよう、また修正しなければならなくなる可能性が高いからです。次に、Internet Explorer 7 のコメント ブロックを指定するために、「等号 (=)」を使います。

例:

```
<head>
<title>Test Page</title>
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=8" >
<!--[if gte IE 8]>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheets/standards.css" />
<p>Internet Explorer 8 and greater will receive this style sheet. </p>
<![endif]-->
<!--[if IE 7]>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheets/ie.css" />
<p>Internet Explorer 7 will receive this style sheet.</p>
<![endif]-->
</style>
</head>
```